

参考資料

平成26年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
病 院 局

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【病院事業会計】

区分	平成26年度	平成25年度	伸び率
予算総額	69,036,275千円	63,984,871千円	7.9%
収益的支出	52,641,451千円	43,424,666千円	21.2%
資本的支出	16,394,824千円	20,560,205千円	△20.3%

II 主な新規事業および重要施策

(単位 千円)

1 県立病院の医療機能強化

P 1 小児医療センター新病院建設の推進【小児医療センター建設課】
7,669,972

P 2 循環器・呼吸器病センター新館（仮称）等建設の推進【経営管理課】
1,086,635

P 3 がんセンター整備の推進【がんセンター建設課】
2,963,933

小児医療センター新病院建設の推進

担当 小児医療センター建設課 企画担当
内線 5989

1 目 的

平成28年のオープンに向け、県立小児医療センターをさいたま新都心第8-1A街区に移転・整備し、隣接するさいたま赤十字病院新病院と連携することにより高度な周産期医療と小児救命救急医療を提供する。

2 予 算 額 【平成25～29年度継続事業】

- ・総事業費 37,288,984千円
- ・平成26年度年割額 7,669,972千円【継続事業第2年次】

3 事業内容

- ・平成25年度：舗装撤去工事、本体工事に着手
- ・平成26年度：本体工事、歩行者デッキ工事
- ・平成27年度：本体工事、歩行者デッキ工事、外構工事、
竣工（平成28年3月末）
- ・平成28年度：新病院オープン
環境アセスメント事後調査業務（26年度から継続）
- ・平成29年度：環境アセスメント事後調査業務（同 上）

小児医療センター新病院の概要

敷地面積：10,031.17㎡

延べ面積：67,885.39㎡

（付加機能分を含む）

階 数：地下2階／地上13階

病 床 数：316床



さいたま新都心駅側から見た完成イメージ

循環器・呼吸器病センター新館（仮称）等建設の推進

担当 経営管理課 経営企画・財務担当
内線 5984

1 目的

県立循環器・呼吸器病センターに新館（仮称）等を整備し、北部地域初となる緩和ケア病床を新設するなど、高度・専門医療の機能強化を図る。

2 予算額

(1) 工事【平成26～29年度継続事業】

- ・総事業費 8,566,937千円
- ・平成26年度年割額 912,552千円【継続事業第1年次】

(2) 設計 174,083千円

※平成26年度当初予算額 計1,086,635千円

3 事業内容

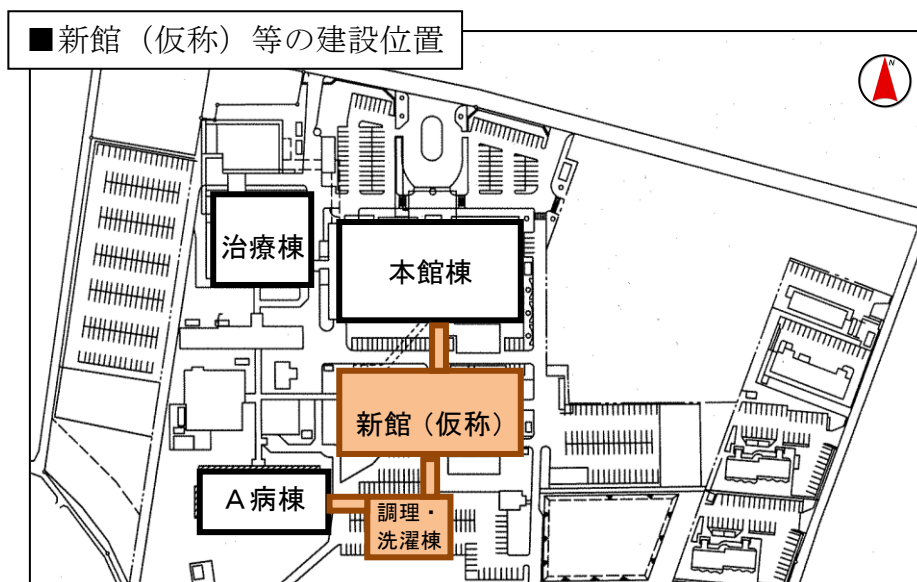
- ・平成26年度：設計業務完了、調理・洗濯棟建設等工事に着手、竣工
- ・平成27年度：新館（仮称）建設工事に着手
- ・平成28年度：新館（仮称）建設工事竣工、本館棟、A病棟等改修等工事に着手
- ・平成29年度：本館棟、A病棟等改修等工事竣工

4 新館（仮称）等整備の概要

- ・新館（仮称）：14,000㎡程度、地上4階
- ・調理・洗濯棟：1,000㎡程度、平屋

5 整備の特徴

- ・緩和ケア病床の新設（24床、全室個室）
- ・人工透析室の新設（ベッド10台程度）
- ・感染症病床の新設（21床）
- ・呼吸器病棟の個室割合の増加（34%→80%程度）



がんセンター整備の推進

担当 がんセンター建設課 計画担当
内線 5995

1 目 的

平成25年度にがんセンター新病院の整備・移転が完了した。平成26年度は、既存がんセンター建物のうち、東館をがんセンターの研究所等として改修し、老朽化した本館及び南館は解体後、跡地を緑化整備する。

2 予 算 額 【平成22～26年度継続事業】

- ・総事業費 25,250,165千円
- ・平成26年度年割額 2,963,933千円【継続事業第5年次】

3 新病院整備の経緯及び平成26年度の主な工事内容

- ・平成22年度：設計・施工の一括発注、実施設計
- ・平成23年度：建設工事に着手、杭、免震層等地下工事
- ・平成24年度：地上躯体、仕上げ工事に着手
- ・平成25年度：建物完成、外構工事、新病院オープン
- ・平成26年度：既存がんセンター東館の改修工事（研究所等として整備）
本館・南館の解体工事（跡地を緑化整備）

